

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	徳島市（徳島東部地域定住自立圏 行政運営に関する研究会事務局）		代表者名	井坂 剛人	
担当者部署(属性)	その他	担当者部署名	総務部行財政経営課	連絡先電話番号	088-621-5113
担当者役職	主事	担当者氏名	大西 真央	連絡先E-mail	
住所	770-8571 徳島県徳島市幸町2丁目5番地				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署		連絡先E-mail	
担当者氏名		連絡先電話番号		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（複数団体）	事業名	防災・減災のDX化		
概要	南海トラフ巨大地震に備え、防災・減災DXを推進するための具体的な手段や、DX人材の育成について助言をいただきたい。				
支援を求める分野	防災				

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	有	180L	令和6年8月27日	事前打合せ	オンライン
		派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	
		令和6年8月19日	支援・助言	10時00分	11時00分
				活動時間（分）	60

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	濱田 真輔
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	オンライン形式で打ち合わせを行った。アドバイザーから、これまで携わってきた業務や自治体に対して行った助言内容等の事例を紹介していただき、申請時には明確にできていなかった事業の内容や現況と課題について明確にすることができた。また、申請後に宮崎県日向灘を震源とする大規模地震が発生し、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発令されたが、それを受けての対応等についても助言いただけるとのことから、評価を「大変よい」とした。
アドバイザーへの要望事項	講演は複数の市町村職員が参加し、普段は災害対策に従事していない職員も多いことから、防災に関する知識に差があることが想定されるため、基礎的な内容から助言をいただきたい。

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	2人	
	属性	自治体職員	住民	企業・団体
	人数	2		その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	全国で大規模な地震が頻発し、南海トラフ地震の発生確率が高まる中、自治体職員だけでなく住民ひとりひとりの備えが必要不可欠であるため、これまで各自治体が行ってきた、地域住民や民間企業等への協力要請をより一層行っていく必要がある。また、「南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）」が発令され、引き続き地震への警戒を行う中で、情報収集の方法や取り組むべき項目の優先順位等を検討する必要がある。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	南海トラフ地震に備え、これまで取り組んできた各市町村の取組を報告し、意見交換等を行うことで、防災対策の現状を把握する。また、アドバイザーから過去の事例に基づいた助言を受けることで、改善点や課題を共有する。地震発生後、全員が被災者となる状況で、被害状況を迅速に把握し、避難所の開設及び運営をしていくために、日頃から自治体職員として取り組むべきことと、地域住民や民間企業等に協力を依頼することを明確にする。また、南海トラフ地震臨時情報が発表されたことにより、いっそう防災対策の強化を求められる中、今後の方向性を認識し、各市町村の参加者が関係部局に情報共有することで、今後の防災・減災対策に活かしていく。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	支援を求める内容については当初、防災や減災のDX化を想定していたが、DX化を図る前の根本的な防災・減災対策について整理する方が優先順位が高く、DX化は明らかになった課題に対して適切なシステム等を検討していくと良いという助言があり、テーマの再検討を行うことになった。また、防災対策の中でも、地震発生前、発生直後、発生数か月後では取組内容が全く異なるため、時期と対象を絞る助言を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	当初想定していたテーマは、個別の取組を列挙してDX化の事例紹介にとどまる内容で、主体や時間軸に一貫性がなかった。助言を受けたことで、主体を自治体職員(が担う役割)と地域住民(に担ってもらう役割)とし、時間軸を災害発生前～発生直後に絞り、主な場面を避難所に設定することにした。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない 今後、講演に向けて事前アンケートを作成する。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	事前に参加者や関係者に対して行うアンケート及び具体的な取組内容についての案をいくつか出していたが、講演時間を考慮するともう少し厳選すべきとの助言をいただき、改めて項目及び設問の文章等を練り直すことになった。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回は事前打ち合わせのため、アンケートは行わなかった。	
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他 講演に向けて事前アンケートを作成し、再度アドバイザーからの助言を受ける。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	事前アンケートの結果を講演時に資料として活用し、講演時の意見交換、質疑応答を通して参加者が課題等を関係部局に情報共有することで、各市町村の今後の防災・減災対策に反映させる。	

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

